

第17期とましん創生塾 塾生募集!

とましん創生塾スローガン

地域の活性化は、地域を“経営する”ことで活力を生み出し、みんなで笑顔になることだ!
とましん創生塾から発信 SMILES FOR ALL !!

日程予定	場 所	講 師
2026. 7. 7 (火) 開講記念講演・懇親会	グランドホテル ニュー王子	中川 政雄 氏 株式会社 オフィス・なかがわ 代表 テーマ：一歩踏み込め景色が変わる
2026. 9. 8 (火)	苫小牧信用金庫本店 6階会議室	篠原 靖 氏 内閣府 地域活性化伝道師・クールジャパン地域アドバイザー他 テーマ：観光は地域の総力戦! 稼ぐ観光への転換の手法
2026.10. 6 (火)	苫小牧信用金庫本店 6階会議室	竹本 祐司 氏 内閣府 地域活性化伝道師 テーマ：CSR事業が生み出す地域と企業の活性化
2026.11.10 (火)	苫小牧信用金庫本店 6階会議室	田所 かおり 氏 北海道よろず支援拠点 コーディネーター テーマ：地域の食資源を価値に変える～6次化と商品づくりの実践事例
2026.12. 1 (火)	苫小牧信用金庫本店 6階会議室	中野 純一 氏 公益財団法人 道央産業振興財団 技術コーディネーター テーマ：企業支援機関の活用例 ～GKK(ものづくり活性化チーム-道央圏)
2027. 2. 9 (火) 卒業記念講演・懇親会	グランドホテル ニュー王子	中村 拓哉 氏 株式会社 調和技研 代表取締役社長 (北大発認定ベンチャー企業) テーマ：まずはやってみるAI導入-地方企業だから成功するDXの進め方
時期未定	開催地未定	「地域づくりコーディネーター研修」に派遣

◆定例セミナー セミナー開始時刻 17:00～ ※但し、開講記念講演・卒業記念講演は 16:00～

※ 講師のご紹介・講義内容については裏面をご覧ください

◆地域活性化の外部研修会等への派遣 ※一財)地域活性化センター主催の「地域づくり」コーディネーター研修等
○原則年度内1回を予定していますが、テーマ・開催地・開催時期等により複数回または見合わせることもありますので
ご了承ください。参加費、開催地までの交通費の実費、宿泊費の実費は、とましん創生塾で負担します。

◆募集要項

- 入塾資格 苫小牧信用金庫の営業地区内に事業所又は居所があり、年齢が原則満50歳以下の方
- 募集人数 20名程度
- 受講料 2万円(受講前一括納入となります)
- 事務局 苫小牧信用金庫業務推進部

TEL: 0144-31-2107 FAX: 0144-37-2323

◎入塾希望の方は、苫小牧信用金庫本支店窓口又は「苫小牧信用金庫業務推進部」あてFAXで申込みください。

任意 業 2903
令和 8 年 7 月 31 日迄

第17期とましん創生塾入塾申込書

苫小牧信用金庫 御中

令和 年 月 日

ふりがな

氏名 _____ 生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 年齢 _____

会社名 _____ 役職名 _____ 会社電話番号 _____

会社住所 _____ 携帯番号 _____

E-mail _____

応募状況により選考となる場合もありますのでご了解ください。

お申込み締切を6月12日とさせていただきます。

◎ 申込書にご記載いただいた個人情報は厳重に保管し、当塾の運営並びに苫小牧信用金庫の業務のためにのみ使用いたします。ご本人の同意なしに第三者へ提供することはありません。

◎ 当塾開催中に撮影した写真は、苫小牧信用金庫が作成する広報冊子等に掲載することがあります。

第17期とましん創生塾 講師のご紹介・講義の内容

中川 政雄 氏 株式会社 オフィス・なかがわ 代表

高校卒業後、地元大阪の信用金庫に就職。ある上司との出会いをきっかけに、顧客の宛名書きや集金が担当だった「落ちこぼれ」が、28歳で支店長に抜擢されるまでに飛躍した。自ら「お笑い研究会」を立ち上げるなど、元気がない時代に「元気の出前」の講演で各地で活躍中。自称「元気コメンテーター」。

「落ちこぼれ」から支店長に抜擢されるほど劇的に変わった秘密を、生き生きとユーモアたっぷりに話します。単なる根性論に終始するのではなく、示唆に富む内容を自称「品のよい河内弁」で表現豊かに語り聴衆を引き付けます。

当塾では、人が化ける条件など、体験談を基にして語ります。

篠原 靖 氏 内閣府 地域活性化伝道師他 跡見学園女子大学観光コミュニティ学部 准教授

地域活性化伝道師の他、クルーズ船「地域プロモーター」・総務省地域力創造プロジェクトにも務める。地域に眠る観光素材を掘り起こし、具体的な旅行商品化を図る面白企画の達人。大胆かつ斬新な発想での商品開発力はテレビ・新聞等マスコミでも有名。

当塾では、激変する観光マーケットの最新動向と観光振興について改めて考えます。今や観光は地域の総力戦と言われており、「数を追う観光」から「稼ぐ観光」への転換点を迎えています。行政と民間の役割を明確にした上で、観光と無縁だった1次産業から4次産業までの民間の皆さんの力を結集した、地方の地域経済の活性化につなげていく手法について考えます。

竹本 祐司 氏 内閣府 地域活性化伝道師 一般社団法人 地域改革 代表理事

地域活性化伝道師の他、総務省地域力創造プロジェクトや地元の福井県まちづくりセンター代表理事等も務める。当法人では、「まちづくり人材育成事業」のノウハウを有しており、「地域課題のプロジェクトコンサルティング事業」も実施、地域人材を中心にプロジェクトと人材の育成を同時に行い、自走できるプロジェクト運営を実施している。

当塾では、CSR事業による企業メリットと事例を伝え、地域と企業の新たな活性化の方法があることを理解していただきます。地域活性化を行うには行政リソースでは限界があります。企業のリソースを活用して企業と地域が活性化することは可能です。SDGsやESGが加速するなかで、企業や消費者に選ばれるにはCSRは慈善事業から企業戦略に変わってきています。

田所 かおり 氏 北海道よろず支援拠点 コーディネーター

野菜ソムリエ上級プロ。6次産業化プランナーの他、食に関する資格を多数保有。事業の本質を整え、「核となる価値」から形へ導く食と農のコンサルタント。食と農の現場では、まだ生かし切れていない価値が数多くあります。惜しまれながら廃棄される農産物、表現を変えればもっと魅力になる商品。地域が持つ資源や素質、そして事業者自身が気づいていない強み。田所氏はその「核の価値」を丁寧に掘り起こし、方向性づくり・価値の言語化・コンセプト設計と言った上流工程から、商品・メニュー・売り場づくりまで一貫して整える支援を行っています。

当塾では、自ら関わってきた6次化の実践事例を紹介し、その事業化に関心を持ってもらえればと考えています。

中野 純一 氏 公益財団法人 道央産業振興財団 技術コーディネーター

道央産業振興財団は、苫小牧市・千歳市・恵庭市・安平町の中小企業等に対する技術や活性化への支援事業を行っていますが、GKK(ものづくり企業活性化チーム)は、学(G)・官(K)・金(K)の実務担当者がチームを組み、ものづくり企業(道央圏)の技術支援、各種支援制度の活用、技術情報の提供をはじめ、様々なご相談に応じています。またGKKでは製造業に限らず、技術開発、企業活性化、品質向上・コスト低減、経営力向上・経営革新計画などニーズに合わせた支援・アドバイスを行っています。

当塾では、「GKK」の活動実績や設備導入等の事例の紹介、また、公的な補助事業に申請する場合の補助を獲得するポイントについて、公募要領などを利用し解説を行います。

中村 拓哉 氏 株式会社 調和技研 代表取締役社長(北大発認定ベンチャー企業)

当社は、2009年に北大の調和系工学研究室からスピンアウトして誕生し、AI技術を社会に役立てることを使命としている企業です。現在、AIに関するコンサルから開発・導入支援までをワンストップで提供。強みは、大学のAI研究室との連携も豊富で学術レベルの高度な技術力を有していることです。言語系、画像系、数値系におけるAIエンジンの開発と運用を手掛け、これらを組み合わせることで、複雑な課題にも柔軟かつ迅速に対応でき、多種多様な業種・領域の課題解決に貢献してきました。

これまで多くの企業企業とAI導入に取り組んできた中で、うまくいった事例だけでなく、途中で止まってしまったケースも数多く見てきました。当塾では、そうした成功と失敗の両方を踏まえながら「なぜ進む企業と止まる企業が分かれるのか」「現場で使われる形にするために何が必要か」をできるだけ実践的にお話しします。皆様に「まず一歩やってみよう」と思えるような時間にできればと考えています。